

NO.214 令和6年5月1日

〒259-1188 伊勢原市田中348番地 **雷** (0463)74-5085(直)/FAX(0463)94-4738 https://www.city.isehara.kanagawa.jp/gikai/

発行:伊勢原市議会/編集:議会広報委員会

3月定例会

2/20~3/25

小児医療費の助成に関す

主な可決議案

減等を図るため、物価高

大木克美

る条例の一部を改正する

例」などの議案31件が提出され、 承認しました。 算案を審議し、いずれの議案も賛成多数で原案のとおり可決しました。 会計予算案をはじめ、4特別会計予算案および公共下水道事業会計予 (2面に総括質疑、 3月定例会では、 市長提出議案はほかに、「国民健康保険税条例の一部を改正する条 総括表、 総額379億7300万円とする令和6年度一般 3面に討論) いずれも原案のとおり可決・同意・

について執行機関に説明を求めました。(4面・5面に 一般質問は、3日間行われ、 16人の議員が市政に対する考え方など 一般質問

全線開通 県道603号(上粕屋厚木)西富岡バイパス 県道603号西富岡バイパスが全面開通 (令和6年3月25日)

止する条例

料の額の設定と、介護保 て所要の改正を行いまし 伴い、引用条項等につい 険法施行令の一部改正に 画期間における介護保険 第9期介護保険事業計

部を改正する条例 国民健康保険税条例の一

を行いました。 するため、税率等の改定 事業の健全な運営を確保 について、国民健康保険 国民健康保険税の課税

予算 (第9号) 令和5年度一般会計補正

期満了となる農業委員会

令和6年3月31日に任

農業委員会委員の任命

①物価高騰等の影響を受 けている生活者の負担軽 第9号の補正予算では、 賛成全員で同意しました。 議案が市長から提出され の委員を任命したい旨の 任期は3年です。

騰対応重点支援地方創生 て、マイナンバーカード り必要となった経費とし 道路整備、学校のトイレ ②国の補正予算を活用し 援の準備を実施。 和6年度における小中学 臨時交付金を活用し、令 定価格の増額改定に伴い を追加するほか、国の公 ③事務事業の執行に当た て、 改修等の建設事業につい への氏名ローマ字表記等 前倒しで予算計上し、 校給食の食材費高騰分を に係るシステム改修経費 計画を前倒しして実 支

を図るため、

小児医療費

て支援施策の一層の充実 軽減するとともに、子育

養育者の医療費負担を

年度末まで拡大するもの 用範囲を見直し、18歳の 助成に係る対象年齢の適

なお、対応に関する医

の周知、管理システムの 改修などが必要であるた 療機関等への協力依頼や め、本年10月1日からの 調整、対象となる市民へ 介護保険条例の一部を改 ④令和4年度決算等に基 費を追加。 子ども・子育て支援給付

実施となります。

算を実施。 づく精算として、生活保 護費等の国庫支出金の精

20

日~3月25日

物価高騰対応重点支援地 回の国の経済対策に伴う 伴い、追加するほか、今 再算定がなされたことに ⑤普通交付税について、 方創生臨時交付金等を追

29 20

 \exists

·教育福祉

委員会

日・議会広報委員会

26日·下田市議会行政

視察来庁

00円を追加し、予算総 め、5億3418万30 1000円としました。 額を386億4578万 以上5点に対応するた

固題

6 月定例会の開催予定

6月4 日(火)本会議(提案説明)

10日(月)本会議(議案審議) 12日(水)委員会(付託審査)

13日(木)委員会(付託審査)

18日(火)本会議(一般質問)

19日(水)本会議(一般質問) 20日(木)本会議(一般質問)

24日(月)本会議

*本会議は、午前9時30分から開始します。

月

議

会

H

誌

2

1日~2日 総務委員

日·総務委員⁶ 所管事項 調査 会協議会

6

7日・産業建設を 協議会 委員会

日·会派代表 ・全員協議な 正副委員 者会議

9

日・会派代表者会議 長会議

19日・全員協議会 17日・議会広報委員会

 $14 \ 13$

日・議会運営委員会

・金目川水害予防

組合議会

24日・県市議会議長会 ・会派代表者会議

25日·関東市議会議長会 定例会

定期総会

広域連合議会

後期高齢者医療

環境衛生組合議会

協議会 教育福祉

委員会

25日・議会広報委員会 27日·秦野市伊勢原市

21日 · 議会運営委員会

13日·教育福祉委員会 11日·産業建設委員会 総務委員会 月

8 日 •

3

梶政博 (日向) 田中真紀子(粟窪) 今井惠美子 (上粕屋)

田中光男 重田千秋 鈴木雅之

(見附 (子易

島

〒平

間宮

越水一雄

(東大竹)

古屋幸男 (東大竹) 麻生伸一 (小稲葉)

令和6年度予算に対する総括質疑を行いました。 3月定例会では、 6人の議員が会派を代表して



れを踏まえた上で、市長 去最大規模となるが、こ 公営企業会計いずれも過 いる。また、特別会計、 で過去最大規模となって 300万円で、3年連続 Q一般会計は379億7 の見解を伺う。

構造の強化が不可欠であ 財政構造、とりわけ歳入 りを進めていくためには、 が重要である。 経済の活性化などへ投資 市民が安全に、また、安 A【市長】将来にわたり 心して暮らせるまちづく 税財源の涵養、 、地域

しかし、令和6年度の

状況となった。そのよう る中で、市税をはじめと とが重要であり、 う上では好機を捉えるこ な中で効果的な投資を行 られていない厳しい財政 る効果をいまだ十分に得 する歳入は景気回復によ 費や物件費が増大してい の上昇など普通建設事業 資材価格の高騰、人件費 予算編成に当たっては、 刻一刻 使うのか伺う。

られた財源を最大限に活 ンスに苦慮しつつも、限 進と財政健全化とのバラ 境変化を踏まえ、施策推 と変化している本市の環 向したところである。 用して、本市の未来を志

いる。 を持って暮らしてもらえ 施策の推進により、市民 る予算となったと考えて の維持とともに、必要な たが、行政サービス水準 きく減少することとなっ に安心して、また、希望 財政調整基金残高は大 などスキルアップにつな



を行っていくのか伺う。 生産性向上のためのスキ 使用方針で使ってもらい ル向上へどのような指導 atGPTsなどは今後 hatGPT-4, Ch に寄与すると思われるC また、より生産性向上 職員にはどういった

働力人口が減少していく 人口減少社会を迎え、労 【総務部長】本格的な

の一つであると認識して 生成AIの活用は生産性 中においては効率的に業 紹介やアンケートを行う る。また、多くの職員が していきたいと考えてい 出しなどに積極的に活用 企画立案などのアイデア で、文章の作成や事業の ティーに十分注意した上 いる。そのためセキュリ 向上に向けた有効な手段 務を遂行する必要があり 定期的に利用方法の事例 有効に活用できるように

努め、より効果的な技術 ており、ChatGPT ので、今後も情報収集に する技術が誕生している など、より生産性が向上 ジタル技術は日々進歩し の活用に努めていく。 -4やChatGPTs 生成AIに限らず、デ

生成A-の導入につい

に予算編成大綱について 令和6年度施政方針並び 今 野 康敏

Q 今後、 シティの実現、 行かない窓口、 書かない窓口 スマート また、サ

ー派遣事業など、

ら登用すべきと考えるが などの自治体DXを推進 いくことに加え、民間か 員中心に庁内で育成して 備えた人材が必要となる。 していくためには、最新 見解を伺う。 そのような人材を若手職 の高度な専門知識を兼ね イバーシティ対策の強化

デジタル人材の育成につ 材育成基本方針において を進めている伊勢原市人 のため、現在、改定作業 スキルが必要となる。そ いて位置づけ、 タル技術に関する知識や 進していく上では、それ A【総務部長】DXを推 めていくこととしている。 ぞれの役割に応じたデジ 検討を進

げていきたいと考えてい

および県内市町村で構成 の知識、スキルを備える DXに関するアドバイザ するワーキングに参加す している。外部人材の活 外部人材の活用がデジタ することから、デジタル ものではなく、 るなど、活用方法の調査 用については、神奈川県 有効な手段であると認識 育成は一朝一夕に行える 研究を進めており、 また、デジタル人材の 人材を確保するための 時間を要

の構築に向けて取り組ん ら自治体DXの推進体制 援策の活用も検討しなが

関)に対し、一般会計予算、特別会計予

総括質疑とは、本会議で市長(執行機



長の考えを伺う。 ならないと考えるが、 的に進めていかなければ めインフラ整備等、 子育て、福祉施策をはじ 本市の将来人口推計が上 Q 昨年末の国の調査では この機を逃すことなく、 振れする予測が出ている 市

低になるなど、人口の減 値では、出生数が過去最 した人口動態統計の速報 できる状況ではない。 市としても決して楽観視 り幅が拡大しており、 A【市長】先日国が公表

将来に向けた投資を果敢 の成長へつなげるために 来世代に明るい希望を持 に取り組んでいく。 ってもらい、 の機を逃すことなく、 変わろうとしている。 は、都市基盤の整備、 通網の進展などで大きく しかし、これから本市 今後のまち 交 将

るため、市民生活に寄り りや福祉施策、災害対策 添いながら着実に進めて つながる大事な施策とな なども市民の安全安心に また、子育て環境づく



め、総括質疑の後、3つの常任委員会で

総括的に疑義を問うことをいいます。 算および公営企業会計予算について

予算や決算の議案内容は膨大なた

所管ごとに、より具体的な審査を行っ

事業の投資において、 体的な推計等を行ってい 税金が使われる大型開発 ついて、これだけ多額の 田中笠窪線の整備事業に

いない。 経費であり、 具体的な数値は算出して 基本計画レベルの概算の 係る現段階の事業費は、 A 【都市部長】 伊勢原駅 北口市街地再開発事業に 投資効果の

作成を進める中で具体的 想定できる直接的な効果 や住居、店舗の入居など、 いて、再開発ビルの建設 たっては、事前評価にお となるため、事業計画の 額を算出することが必要 なお、事業の実施に当

いては、直接的に税財源 路田中笠窪線の整備につ は捉えていない 果の具体的な数字として はないことから、 の涵養を図る取り組みで





ないのかを聞く。 ① 伊勢原駅北口再開発と 具

えている。 に検討していきたいと考 【土木部長】 都市計画道

会議録をご覧ください

議会だよりでは、各議員の質問 答弁の一部を要約し、掲載して います。詳しい内容は、市議会 ホームページの会議録検索シス

テムか、会議録をご覧ください。 会議録は、図書館、市役所1階 市政情報コーナーなどでご覧い ただけます。(発行時期は議会事

務局までご確認ください)

クルリン

人和《左连》人到又答《托丰

	令和6年度	各会計予算総括表	支
:	会 計 名	予算額	対前年度 伸率(%)
-	一般会計	379億7,300万円	7.5
4+	国民健康保険事業	96億5,800万円	0.0
特 別	用地取得事業	1億2,200万円	0.0
会 計	介護保険事業	82億9,100万円	3.1
āΓ	後期高齢者医療事業	18億1,900万円	12.4
	公共下水道事業	61億3,100万円	-3.8

予算編成大綱に 市長の施政方針が がてて



世代もおり、市外から子

クールが充実している他 校に上がると、フリー

県へ引越しをする子育て

① 子育て施策でう として、予算の中にどの っている部分があり、今 なか見えてこない。 ように現れているかなか 子育て施策へのアピール してきたとのことだが、 までも市民にアピールを まくい

> 思わざるを得ない。 アピールができてないと 育て世代を引っ張り込む 子育て世代に限って他

と考えるが見解を伺う。 を打ち出してもらいたい A【市長】なかなか難し い質問であるので、これ 市にアピールできるもの

:	会 計 名	予算額	対前年度 伸率(%)
	一般会計	379億7,300万円	7.5
#±	国民健康保険事業	96億5,800万円	0.0
特 別	用地取得事業	1億2,200万円	0.0
会計	介護保険事業	82億9,100万円	3.1
ĀI	後期高齢者医療事業	18億1,900万円	12.4
公営企業 計	公共下水道事業	61億3,100万円	-3.8
	•	·	

特別会計・公共下水道事業会計予算の採

3月定例会では、令和6年度一般会計・

論

本会議において、

ここでの討論とは、

決の前に、議題とな

要となっている。そのた

着実に推進することが重 実施計画の重点事業を

っている案件に対

決前に、6人の議員が会派を代表して反

自己の意見を表明す

賛成か反対か、

ることをいいます。

対・賛成の意見を述べました。

のような予算になってい の役割だと考えるが、そ 困り事を減らすのが政治 大限に活用して、市民の 市民や職員の能力を最 総括質疑の中で、

庶

岸

圭介

めじろ押しの予算と判断 反対を表明する。

な子育て、教育、福祉予 そして、市民負担が

わたる伊勢原市の持続可 運営の安定とともに、市 現を目指している。財政 した予算編成は、将来に 民の暮らしやすさを重視

ある。 能な発展を支えるもので 今後も伊勢原市の現在

民

経済状況の下で、

物価高騰と厳しい市民の ところで見られ、市民の かない姿勢がさまざまな ついても、市民の声を聞 不満の声が噴出している。 また、事業の進め方に 不十分

業基盤の整備、子育て支 財源の適切な管理を行っ 財源の確保に努め、依存 来に投資し、市民が実感 援の充実など、本市の未 ており、歳出面では、産 入においては、

できる暮らしやすさの実

また、選ばれるまちにな るよう、第6次総合計画 住み続けることができ、 全ての市民が安心して

と将来にわたる発展に寄

いても、市の根本的な人 で推進しようとしている。 分と考える。 課題の抽出や対応が不十 材不足や育成の問題など 行革やICT化などにつ 情報漏えいなど対策が不 十分なまま、多額の予算

論とする。

萩原

目指し、行政が市民、民 となっている。

取り組むことを要望し、 体とともに心と力を合わ 間事業者、さまざまな団 力を持ってまちづくりに せ、速度感と具体的実行 選ばれるまち伊勢原を

公明党いせはら

今 野 康敏 政

志

り組む姿勢が見える内容 も、次なるステップへ取 のとり方に苦慮しながら 多くの予算がついており きな事業への取り組みへ 財政健全化とのバランス 未来の伊勢原を支える大

賛成討論とする。 ある。 ことを期待するところで 積極的な予算編成が行わ 道筋をつけるものとなる れ、その成果が未来への

本市の持つ優位性を最

していくことを期待して、 期的な政策を立案し実行 き込んだ、先進的かつ画 本議案に対しての賛成討 大限に生かし、市民を巻 反

対

予算化できた事業の予算

施策をしようとする意欲 うである。 やアイデアがないかのよ さらによい施策、新しい な内容の答弁があったが、 は満額通ったというよう

ない。そう考え、反対討 やす予算であってはいけ がある。未来の負担を増 史をもっと生かせる予算 伊勢原の人と自然と歴 賛成討論とする。

個人情報保護の問題や

日本共産党

勝又

澄子

いせはら未来会議 森尾 **武史**

線の整備、秦野市・伊勢 科学館施設長寿命化など、 原市共同消防指令センタ 都市計画道路田中笠窪 図書館・子ども

賛成討論とする。

をつけるための予算編成 を基本に、未来への道筋 の継続性を確保すること し、必要な行政サービス 市民の安全安心に配慮

向上に資する政策がさら 与する、市民生活の質の に充実することを期待し、 推進し、

の下、スピード感を持っ れの事業が多くの人から の両面で展開するそれぞ 事業の一つ一つを着実に 割り意識を取り除き、全 という確固たる強い信念 選ばれるまちにつながる 庁一体となり、職員一人 一人が創意工夫しながら、 ハード、ソフト

めにも、 て取り組むことを期待し、 従来に増して縦

進 風 会

荻野 貴文

た。まさに未来に向けた 基金の繰り入れが行われ が生じ、市債や財政調整 の結果、多額の財源不足

政務活動費は、地方自治法や市議会政務活動費の交付に関する条例の規定により、 議員の調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として各会派 に対し交付されます。

−人当たり月額2万円です。(残金が生じた場合は返還)各会派の収支報告書は市政情報コーナー、市ホームページでご覧いただけます。

会和5年度改選後(5日~3日分) ※会和5年度は議員の改選後の会派に交付した5月から3月分の内容にかります

■市和3年及	改選後(5月~3月分) ※令	が削り平度は誤	関リの以迭後の)会派に交付した5月から3月分の内容になります。	
会 派	所属議員	交付額(円)	支出額(円)	主な使途	備考
志 政 会	米谷政久 越水崇史 大垣真一 長嶋一樹 八島満雄 夛田 嚴 萩原鉄也 前田秀資 大山 学	540,000	473,770	・広報広聴費 タウンニュース掲載	・令和5年12月19日 会派結成 ・支給額は令和6年 1月~3月分
いせはら未来会議	橋田夏枝 安藤玄一 森尾武史	660,000	615,356	・研究研修費 ・調査旅費	
公 明 党	今野康敏 中山真由美	440,000	439,971	・研究研修費 全国都市問題会議、防災士研修、全国市議会議長会研究フォーラム・資料購入費 書籍・広報広聴費 タウンニュース掲載	
日本共産党	川添康大 勝又澄子	440,000	432,315	・研究研修費 自治体学校 ・資料作成費 コピー機カウンター代 ・資料購入費 書籍 ・広報広聴費 議員団ニュース、会議室使用料、タウンニュース掲載 ・その他の経費 コピー用紙代	
進風会	山田昌紀 荻野貴文	440,000	479,620	・調 査 旅 費 低炭素循環型住宅都市について(奈良県生駒市) おおぶ子ども・子育て八策について(愛知県大府市) ・広報広聴費 タウンニュース掲載	・支出額479,620円の うち政務活動費充当は 440,000円傞額は12負割
創 政 会	米谷政久 越水崇史 大垣真一 長嶋一樹 八島満雄 夛田 嚴 萩原鉄也 前田秀資 小沼富夫 大山 学(令和5年12月19日まで)	2,200,000	1,354,138	・研究研修費 全国都市問題会議、全国市議会議長会研究フォーラム	・支出額は令和5年 5月~12月分
	小沼富夫(令和5年12月19日から)	0	0		・令和6年1月~3月 分交付申請なし
庶 民	岸 圭介	220,000	32,395	・資料購入費 書籍	

※所属議員は令和6年3月31日現在

※令和5年12月19日付けで、越水崇史議員、大垣真一議員、長嶋一樹議員、八島満雄議員、夛田嚴議員、米谷政久議員、萩原鉄也議員、 前田秀資議員、大山学議員が「創政会」を退会し、「志政会」を結成しました。



について子どもの生活支援安心して暮らせるまちづくり

[志政会] 萩原 鉄 也

■ 安心して暮らせるまち

本市の

あると認識している。 が横断的に連携して取り 組んでいくことが重要で ためには、 今後も全ての子どもが 庁内関係部署

取組を伺う。 づくりについて、

るため、 要な支援等の取組を継続 とより、NPO法人等各 団体と連携しながら、必 成長できる環境を整備す 的に実施していく。 生まれ育った環境によっ て左右されず、健やかに 庁内の連携はも

◎アクセシブルなまちづ 【その他の質問】 くりについて

ってきた。子どもの貧困

対策の取組を進めていく

いせはら議会だより

などの配布を行う際に、 して、食料品や生活用品 する子育て家庭を対象と 禍や物価高騰により困窮 する福祉団体が、コロナ

会場の提供や事業の周知

に協力するなど連携を図



[いせはら未来会議] 安藤 について介護従事者の処遇改善策 玄

のかどうか伺う。 市単独での方策ができる 事者の処遇改善策につい ■ 報酬額に対する介護従 法的な部分を含めて

として、一般会計からの るべきものと考える。市 として支払われており、 が定めた介護報酬を原資 職員の報酬は基本的に国 が単独で行う場合の財源 国の責任において改善す A 【保健福祉部長】介護

支出とした場合は他の福

祉職との公平性が課題と 場合は被保険者が負担す 業特別会計から支出した のところ実施する考えは ることとなるため、 なり、また、介護保険事 に必要な財源を上乗せす る介護保険料に処遇改善 現在

◎介護老人保健施設につ いて

【その他の質問】

児童館の廃止は決定ではない

勝又

とある。機能移転先が決 のように自治会に説明を らず、廃止が決まったか 移転した後、児童館廃止 ① 統廃合計画では、 考えを聞く。 るのではないか。 進め方として間違ってい していることは、事業の とはできないにもかかわ 館の廃止計画を進めるこ まっていない以上、児童 市長の

の貧困対策に関する取組

【子ども部長】子ども

方針に計上した取組のほ

ひとり親家庭を支援

【市長】私が指示をし ◎子育て世帯への支援の

拡充について

【その他の質問】

ている。

A



交通空白地区等の取り組み

夛 田

たいとの答弁があったが その対応について確認す 中心に議論を進めていき 市地域公共交通協議会を について質問し、伊勢原 公共交通空白地区の対応 ■ 令和元年12月議会で、

た。しかし、50名のモニ モデルスタディーを行っ タクシー交通を利用した 市民モニターを募集して、 討として、令和3年度に 空白地区等への対策の検 ター募集に対し、4名の 【都市部長】 公共交通

公共交通計画において地 動環境の実態や地域ニー 5年度に策定した市地域 通空白地区等における移 応募にとどまり、公共交 域の実情やニーズを踏ま い状況であった。改めて ズを把握するには至らな

り組みを検討していきた とし、地域ごとの状況を えた地域公共交通の在り 把握し、 方について検討を進める いと考えている。 地域に合った取 また、同法第6条の規定 学校嘱託医等が健康診断 育委員会が委嘱している 則に規定されており、教 検査項目は、 の規定に基づき、 市の考えを聞く により検査をしている。

◎観光振興の駐車場の現 【その他の質問】 状と課題について

生検査を実施し、文部科

分な理解を得るとともに、

をはじめ、地域住民の十

に基づき、毎年、

環境衛



に対して疑問点を質問したり、政治 政全般にわたって市長等(執行機関)

般質問とは、

本会議で議員が市

姿勢を明らかにしたりするものです。

見いだす成果、また、発 策会議の具体的な内容と ❶ 能登半島地震を教訓と 災直後の72時間の見直し した関係課による災害対 と訓練について伺う。

らの招集により、 いる。今般の震災を踏ま 災害対策を検証する場と 半島地震を受け、 の課題について議論が交 保、被災状況の把握など え、水や食料、燃料の確 旬より継続的に開催して して設けられ、 災害対策会議は、 【危機管理担当部長】 1月の下 改めて 市長自

的になれば、いろいろ協 る。そのため、今後具体 するようお願いをしてい

議をされていくと承知し

わされ、まずはさまざま

健康診断を行っている。 校では、毎学年、定期に をするべきと考えるが の児童・生徒の健康調査 ① 化学物質過敏症(香害) A 【学校教育担当部長】 学校保健安全法第13条 小中学

◎PTA入会の意思確認 はできているのか

災害対策会議について災害から市民を守るために [志政会] 大垣

な支援が届くとされる発 災後の3日間、

資源が引き継がれ、市域 込みながら、各地域でな られ、これをベースに自 利用可能な水利施設の洗 むこととしている。現在 用水の確保などに取り組 がるものと考えている。 組みを通じ、 れている。こうした取り すべき訓練の立案が行わ 主防災会や消防団を巻き の落とし込み作業が進め い出しや統合型GISへ 特に重要な飲料水や生活 の防災機能の強化につな 72時間を乗り切るために、

いろな事情があるため、 については、個々のいろ 所、また、今までの機能 ているのは、具体的な場

しっかり地元と意見調整



敏症の調査は必要だ童・生徒に対する化学物質

ら、環境衛生検査を実施 規定されていないことか これに基づいて検査を実 努めている。同基準の中 学物質については基準に 施している。その他の化 等の揮発性有機化合物の 校の適切な環境の維持に 衛生基準に照らして、学 基準等が示されており、 には、ホルムアルデヒド する予定はない

【その他の質問】 ほ



すなわち 真

地域の防災 キャラバンを実施、 施行され、人・農地プラ 市町村に義務化されてい 成が附帯され、令和7年 明確化する目標地図の作 を誰が守っていくのかを 化された。10年後の農地 強化促進法等の改正法が 5年度に、農業経営基盤 て、 には、農業委員会や土地 林水産省による伊勢原市 る。令和5年3月には農 3月までに策定するよう ンが地域計画として法制 A 【経済環境部長】 令和

来推計を踏まえた施設改 ■ 本市の児童生徒数の将

学大臣が定める学校環境 修についての認識

で何う。

が懸念されている。こう ため、児童生徒の保護者 教育条件の改善等を図る 化に伴う諸課題がこれま たり教育水準を維持し、 で以上に顕在化すること れており、学校の小規模 小規模校の増加が見込ま 生徒数のさらなる減少や いても中長期的には児童 A【教育部長】本 したことから、将来にわ

同法施行規

計画の策定に向けた現状地域農業経営基盤強化促進 [創政会] 小沼 富夫

■ 第1次産業振興につい の現状を伺う。 本市の地域計画策定

◎電力データを活用した 【その他の質問】 要説明と出席要請を行っ 改良区、 参集していただき、地域 農業者や生産組合長等に 者等の地域の中心となる 係機関に加え、認定農業 た。令和6年1月には、 せを行い、役割等を相互 業会議等の関係機関を対 市内を7地区に分け、関 け、農業委員等にその概 よる協議の場の設置に向 象に計画策定の事前打合 による協議の場を設けた。 に確認、12月には地域に まちづくりについて JA湘南や県農

6 月

踏まえた学校施設の改修を児童・生徒数の将来推計を [志政会] 長嶋

市にお 模・適正配置の議論や方 るため、児童生徒数の将 ら推進する必要があると 針等との整合を図りなが 来推計を踏まえ、適正規 ている。限られた財源で を行う必要があると考え ティーの核となる施設と 学校が担う地域コミュニ よりよい教育環境を整え な規模や配置に係る検討 ながら、小中学校の適正 しての役割等にも留意し

◎学校教育の現状と課題 について 【その他の質問】 ほか

認識している。

発達相談を受けた人の中

発達の遅れに関す

護者同士の交流の場を設

一つ考えられるのが、保

けるということがある。

のフォロー体制の中で、

A【子ども部長】健診後

解を伺う。

る見極めがさらに必要と

方向性について、

どのよ



について子ども科学館の今後の方向性

田

建物の機能の維持を前提

昌紀

うな考えなのか、聞きた

上の用途を博物館として 学館の建物は建築基準法 ルで検討する必要がある 方法と改修経費をトータ 全体の再編の中で、活用 の用途以外の活用を含め 修費が発生する。博物館 施設として活用する場合 いるため、博物館以外の には、行政センター地区 た多機能化を進めるため には、用途変更に伴う改 A【教育部長】子ども科 現時点では当面、

法を検討している。例え を凝らした運営に努めて 画の展示など入館者に楽 途の範囲で有効な活用方 育施設、学校教育施設と ながら、子ども科学館と とした必要な修繕を進め いきたいと考える。 ば、伊勢原市の郷土資料 なく、博物館としての用 しんでもらえるよう工夫 の展示や市が所有する絵 しての役割を損なうこと して果たしてきた社会教

◎生成A−活用による業 【その他の質問】 務効率化について ほ

発達支援体制の充実を 子どもと保護者に寄り添った [日本共産党] 川添

もへの関わり方が分から 話し合える場となってい 加を勧めている。 このフ 公民館を会場に実施して 利用までに時間を要する の親子が集う場でもあり オロー教室は、5組程度 いるフォロー教室への参 こうした場合には、中央 場合などが考えられる。 ない場合、また、療育の その中で、保護者同士が

◎学校図書館の充実につ

判断される場合や、子ど

う声を何人もから聞いた。

健診での指摘後のフォロ

- 体制が必要と思うが見

すればいいか分からなく たまま、親がどこに相談 た後、ずっと不安を抱え

■ 乳幼児健診で指摘され

なってしまっているとい

【その他の質問】 ると考えている。 いて

締結を災害時の医薬品災害協定

による具体的な実績は特命を受けた再任用職

道と県道への接続位置を

するためには、2つの市

違いになる計画であるた

将来的な西富岡馬渡

[志政会] 前田

秀資

整などがある。

街宣行為については

[いせはら未来会議] 橋田 夏枝

足が全国的に問題になっ 上でも、医薬品における ている。市民の命を守る ① 医療用医薬品の供給不 とが大切になると思うが、 あらかじめ結んでおくこ 災害協定を関係者と市が

見解を聞きたい。

A【危機管理担当部長】 災害に備えて、あらゆ

と言わざるを得ない。し 的備蓄を行うことは困難 かしながら、令和5年度 の需要に対して、市が公 る疾病に対応する医薬品 市の薬剤師会と行っ

> 場において、災害時にお た意見交換や情報交換の 要な課題として受け止め ける多様な医薬品の確保 については、双方とも重

◎さらなる循環型社会を 【その他の質問】 構築するために



で市民の安全安心の向上 防災DXを活用した災害対策 [公明党] **今野**

を進め、市民の安全安心 えるが、見解を伺う。 DXを活用した災害対策 なアプリを導入し、 ■ 本市においても先進的 につなげていくべきと考

A【危機管理担当部長】 防災DXのメリットは

デジタル技術の活用によ 効率的に実施でき、市民 災害対策業務を迅速かつ の提供や被災者支援等の り地域住民への防災情報 つながる効果も期待でき る中で、業務の省力化に た職員で災害対応に当た ある。あわせて、限られ の安全確保や利便性の向 上につなげられることに

を図っていく。 進し、災害対応力の向上 性等を踏まえてDXを推 電、電力供給の停止とい いては、 グ的な方法も確保しつつ る。一方で、実災害にお れるため、従来のアナロ 本市の防災対策や災害特 った不測の事態も考えら

◎GIGAスクール構想 【その他の質問】 の現状とさらなる推准 について

と考えるが、 交差を変えることがよい を整備し、馬渡交差点の 険である。 都市計画道路 市の見解を

長期にわたる停 これまでアート、芸術文 化に積極的に活用されて 有形、無形の文化財など 遺産を形づくる数多くの 日向石や大山こま、日本 A 【教育部長】本市には いるかについて伺う。

□ 県道6号と都市計画道

路西富岡馬渡線の接続地 点の交差点は、非常に危

ついて馬渡交差点の安全対策に 米谷

目違いの状況となってい 分にずれが生じており、 差点の県道に接続する2 つの市道は、交差する部 A【土木部長】 馬渡の交

交差点の目違いを解消

員による具体的な実績に ■ 特命を受けた再任用職

今後本市においても ついて聞きたい。

係る神奈川県や庁内の調 の一部には串橋における 為への対応、農地造成に の対応、地域での街宣行 看板の撤去に係る訴訟へ 命担当が行っている担当 から配属されている。特 ために、令和5年度4月 まざまな課題に対応する 【企画部長】 特命担当 複数の部署に係るさ

認識である。

十分得られているという 配置した実績については

【その他の質問】

調し、関係法令との整合

薬剤師会や関係部署と協

究をしていきたいと考え

定の可否について調査研

卸売業者との協

ている。

トをどのように活用して ■ 地域経済のためにアー (芸術)政策についていせはらの未来に向けたアート [進風会] 荻野

貴 文

いては、個別のケースに

い者の相談支援体制につ A【保健福祉部長】

障が

富にある。 こなかった地域資源が豊

理等を行う基幹相

さまざまな地域課題の整 対する相談支援のほか、

う切り口での活用を図る をアート、芸術文化とい こうした数々の地域資源 化していきたいと考えて 波及効果も意識しながら、 べく関係各所と連携を強 今後は、地域経済への

議会ホームペー

このたび、ホームペー ジをより使いやすく快適 にご利用いただけるよう に、リニューアルを行い ました。

今後とも、わかりやす いきます。

ており、警察や神奈川県 や相談にしっかりと応じ 地域の方からの情報収集 現状の都市計画法で決定 既存の市道76号線とは目 の計画位置においても、 されている西富岡馬渡線 合わせる必要があるが、

に積極的に対応しており 特命担当は、担当業務

委託で効果が高まるか

会幹相談支援センターの民間

◎河川環境について

【その他の質問】

きたいと考えている。 点の安全対策を図ってい 線の整備に合わせ、交差

との協議をしている。

を民間委託にすることで ■ 基幹相談支援センター [志政会] 越水 崇史 センターの機能および運

相談支援センターの運営 営化を視野に入れた基幹 保に取り組みながら、民 携し、中核的な役割を担 について協議、 う人材および専門性の確 営が大変重要となる。 っていきたい。 引き続き関係機関と連 研究を行

◎地域文化(資源)の活用

るが、

市の見解を聞きた

なる可能性もあると考え 市民への相談効果も高く 職員の負担も軽減され、

について

◎引きこもり支援につい 【その他の質問】

く最新の情報を掲載する ホームページを目指して

3月定例会の審議状況

○は賛成 ■は反対

		こりムツ油がパル														○は質放				は反火		
					志	政	政 会				いせはら 未来会議			公明	明党	共産党		進區	虱会	創 政 会	庶民	
		越水	大垣	長嶋	八島	夛田	米谷	萩原	前田	太山	安藤	森尾	橋田	中	今野	川添	勝又	荻野	出	小沼	岸	議決
番号	件名	水	理	嗚	島	Ш	台	原 	#	ΙШ	滕	尾	ш	単	野	派	X	野 	田	冶		結果
		崇史	真	— 樹	満雄	嚴	政久	鉄也	秀資	学	玄一	武史	夏 枝	由美	康敏	康大	澄子	貴文	昌紀	富夫	圭介	
承認第 1 号	専決処分の承認(令和5年度一般会計補正予算(第7号))	史	0	倒	(単)	敵	0	TU O	貝	子	0	史	(文)	天 〇	一	0	0	0	和	人	ア 〇	承認
議案第1号	令和5年度一般会計補正予算(第8号)	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可決
議案第2号	令和6年度一般会計予算	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0			0	0	0		可決
議案第3号	令和6年度国民健康保険事業特別会計予算	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	П	П	0	0	0	0	可決
議案第4号	令和6年度用地取得事業特別会計予算	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	П		0	0	0	0	可決
議案第5号	令和6年度介護保険事業特別会計予算	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		П	0	0	0	0	可決
議案第6号	令和6年度後期高齢者医療事業特別会計予算	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		П	0	0	0	0	可決
議案第7号	令和6年度公共下水道事業会計予算	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0			0	0	0	0	可決
議案第8号	食育推進会議条例の制定	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可決
議案第 9 号	部設置条例の一部を改正する条例	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0			0	0	0	0	可決
議案第10号	手数料条例の一部を改正する条例	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		П	0	0	0	0	可決
議案第11号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可決
議案第12号	伊勢原市特別職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可決
議案第13号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正 する条例	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可決
議案第14号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関 する条例の一部を改正する条例	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	•	•	0	0	0	0	可決
議案第15号	介護保険条例の一部を改正する条例	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0			0	0	0	0	可決
議案第16号	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	0	0	0	0	0	0	0	0	議長	0	0	0	0	0	•	•	0	0	0	0	可決
議案第17号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	0	0	0	0	0	0	0	0	は採	0	0	0	0	0			0	0	0	0	可決
議案第18号	国民健康保険条例の一部を改正する条例	0	0	0	0	0	0	0	0	決に	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可決
議案第19号	小児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	0	0	0	0	0	0	0	0	加わ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可決
議案第20号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準 を定める条例の一部を改正する条例	0	0	0	0	0	0	0	0	りませ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可決
議案第21号	ふれあいの森設置条例及び御所の入森のコテージ設置条例の廃止	0	0	0	0	0	0	0	0	h	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可決
議案第22号	令和5年度一般会計補正予算(第9号)	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	可決
議案第23号	令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可決
議案第24号	令和5年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可決
議案第25号	令和5年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可決
議案第26号	令和5年度公共下水道事業会計補正予算(第2号)	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	可決
議案第27号	農業委員会の委員の任命	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	同意
議案第28号	農業委員会の委員の任命	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	同意
議案第29号	農業委員会の委員の任命	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	同意
議案第30号	農業委員会の委員の任命	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	同意
議案第31号	農業委員会の委員の任命	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	同意
議案第32号	農業委員会の委員の任命	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	同意
議案第33号	農業委員会の委員の任命	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	同意
議案第34号	農業委員会の委員の任命	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	同意
議案第35号	農業委員会の委員の任命	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	同意
議案第36号	農業委員会の委員の任命	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	同意
陳情																						
陳情第 1 号	伊勢原市に「かなちゃん手形の購入費助成」や「タクシー券の助成」 など高齢者への交通費助成を求める陳情	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	採択

「今年こそは大きな自然災害も起こらない安寧の年であってほしい」と願いますが、どこかの地域で発生してしまう。世界有数の自然災害大国と呼ばれる日本で生きる我々の宿命なのかもしれません。本定例会一般質問では、令和6年能登半島や避難計画、リスクマネジメントなどの重要性をも必めて確認するとともに、本市としても関係課による災害対策会議が実施され、地域への情報提供や訓練の実施に向けた取り上げられました。建物の耐震性を必めて確認するとともに、本市としても関係課による災害対策会議が実施され、地域への情報提供や訓練の実施に向けた取り上げられました。全球で可決されました。各常任委員会や総括質疑など、さまざまな課題に対する熱い質疑が交わされ、「暮らしやすさ実感都市「暮らしやすさ実感都市

議員の電話番号 が変わりました

川添 康大 (新)73-7561 委員長 長

大中森米大勝荻萩原7561中山東登1東武大2東大要3東大要4東大要5東大要6東大要7東大要7東東要6東東要7東東要7東東要8東東要9東東要9東東要9東東更9東東更9東東更9東東更9東東更9東東更9東東更9東東更9東東更9東東更9東東更9東東更9東東更9東東更9東東更9東東更更9東東更更9東東更更9東東更更9東東更更9東東更更9東東更更9東更更更9東東<td

議会広報委員会(大垣)

重点事業の確実な推進を 目指すものであると理解 しています。今後も将来 にわたる伊勢原市の持続 可能な発展に向け、市議 会一丸となって取り組ん でまいります。 結びに、市議会ホーム ページがリニューアルさ れました。各議員が市政 に対する深い洞察と熱意 を持って質問する姿を動 を持つて質問する姿を動

後

記

所管事項調査を実施

委員会が所管する施策、事業について先 進的な取り組みを行っている自治体を視 察しました。

●総務常任委員会 令和6年2月1日~2日

大阪府四條畷市

・組織エンゲージメントの可視化と組 織の活性化について

愛知県岡崎市

・災害現場映像通報システムについて